



PRESS RELEASE

平成 20 年 5 月 20 日

株式会社証券保管振替機構と National Securities Depository Limited の情報交換と相互協力に関する覚書に調印

株式会社証券保管振替機構（JASDEC）は、インドの National Securities Depository Limited（NSDL）と、本日、協力協定に関する覚書（Memorandum of Understanding）を調印いたしました。

同覚書に基づき、JASDEC と NSDL は、両社の取締役、上級管理職及びスタッフによる定期的な会合を通じ、業務運営及び証券市場の発展に関して改善の可能性を模索し、情報交換を行ってまいります。

また、両社は、将来において一層親密な協力関係を構築することを期待し、情報交換を通じた交流を維持し、友好及び事業目的での相互訪問を促進してまいります。

調印に際し、JASDEC の竹内社長は、「JASDEC と NSDL の本覚書調印が両証券保管振替機関にとって大いなる恩恵をもたらすことを期待している。」と述べ、JASDEC と NSDL が協力関係を更に強化することで、日本・インド両国における証券市場の発展に寄与するとの期待を表明しました。

また、NSDL のガガン・ライ(Gagan Rai)MD&CEO は、「JASDEC の国内取引と国際取引の幅広く深い経験は、NSDL と私たちの顧客にとって、とても興味深いものである。JASDEC と NSDL の協力関係が将来に亘りより強固となり、インド・日本の資本市場が発展、繁栄することに注力したい。」と述べました。

証券保管振替機構について

証券保管振替機構（JASDEC）は、我が国唯一の保管振替機関（「株券等の保管及び振替に関する法律」に基づく保管振替機関、「社債等の振替に関する法律」に基づく振替機関）であり、株式・転換社債・REIT・その他証券等について保管振替及び決済サービス、及びコマースシャルペーパー・社債・投資信託・ETF等について振替決済サービスを提供しております。2008年3月時点における株券決済制度参加者は286社、保管株券残高は3,200億株となりました。また、子会社のほふりクリアリングにおいて、一般振替についての「金融商品取引法」に基づく金融商品債務引受機関としてDVP決済サービスを提供しております。当社の詳細情報についてはwww.jasdec.comをご参照ください。

NSDLについて

National Securities Depository Limited.(NSDL)は、電子化されているインドの証券の85%を保有する、インドで最初に設立され、最大の保管振替機関です。IDBIやUTI、NSEなど国内的に名声のあり経済発展に責任ある機関の主導のもと、インド市場で扱うほとんどの証券を、電子化された形態で、国際的標準に基づき保管及び決済を行うための国内基盤を設立しました。革新的かつ柔軟なシステムを使用し、インド市場の投資家、ブローカー、清算会社、取引所をサポートしています。また、能率の向上とともにリスクを最小化し、コストを削減する決済制度を開発することにより、インド市場の安全性と安定性の確保を目指しており、かつ将来的に亘って金融市場に対するニーズの高まりを育む商品やサービスの開発においても中心的な役割を果たしています。NSDLは、インドの800の都市にまたがり7,300箇所にある参加者を通じ、900万人の投資家にサービスを提供し、また、1兆USドルの証券を保管しています。他にも、インド政府に代わり全国的な税務情報ネットワークを設置、運営や年金基金規制開発当局（Pension Fund Regulatory and Development Authority・PFRDA）に代わり、新年金システム（New Pension System・NPS）のために中央記録機関（Central Recordkeeping Agency・CRA）の設立作業中です。NSDLの詳細情報についてはwww.nsdl.co.inをご参照下さい。